理研ビタミン株式会社

2026年度 第2四半期（中間期）決算説明会

2026年11月13日

理研ビタミン株式会社（4526）

目次

1. **はじめに**
2. 2026年度 第2四半期（中間期） 業績
3. 2026年度 通期業績見通し
4. 海外事業戦略と中計2027の見直し

Copyright © 2026 Riken Vitamin Co., Ltd.

- 中間期は国内事業を中心に利益を確保
- 海外事業は上期黒字も一時的要因を含み収益性は低水準
- 海外事業の環境変化を踏まえ、戦略を見直し
- 海外事業戦略の見直しに伴い、中計2027の数値目標を修正
- 安定的・継続的な還元に向け、配当方針を変更

目指す方向は不変。
海外事業を、持続的に利益を創出する事業へ再構築

Copyright © 2026 Riken Vitamin Co., Ltd.

目次

1. はじめに

2. 2026年度 第2四半期（中間期） 業績

3. 2026年度 通期業績見通し

4. 海外事業戦略と中計2027の見直し

Copyright © 2026 Riken Vitamin Co., Ltd.

- 売上高**501**億円（前年同期比＋6.2%）
  営業利益**36**億円（前年同期比▲11.1%）
- 売上高、営業利益は期初公表値を確保
- 国内事業は増収も、製造コストや人件費等の増加により減益
- 海外事業は増収、営業黒字を確保も、コモディティ品の販売数量減少などにより前年同期比では減益

Copyright © 2026 Riken Vitamin Co., Ltd.

理研ビタミン株式会社

- **増収減益も、営業利益は期初予想を確保**
- **特別損失の計上もあり、中間純利益は前年同期を下回る**

（百万円）	2025年度 中間期	2026年度 中間期	増減額	増減率	業績予想
売上高	47,265	**50,189**	+2,924	+6.2%	49,500
営業利益	4,091	**3,639**	▲452	▲11.1%	3,600
営業利益率	8.7%	**7.3%**	▲1.4pt		7.3%
EBITDA（営業利益＋減価償却費）	5,772	**5,553**	▲219	▲3.8%	-
親会社株主に帰属する中間純利益	3,361	**3,192**	▲169	▲5.0%	2,900

為替影響額：売上高+985百万円、営業利益＋28百万円

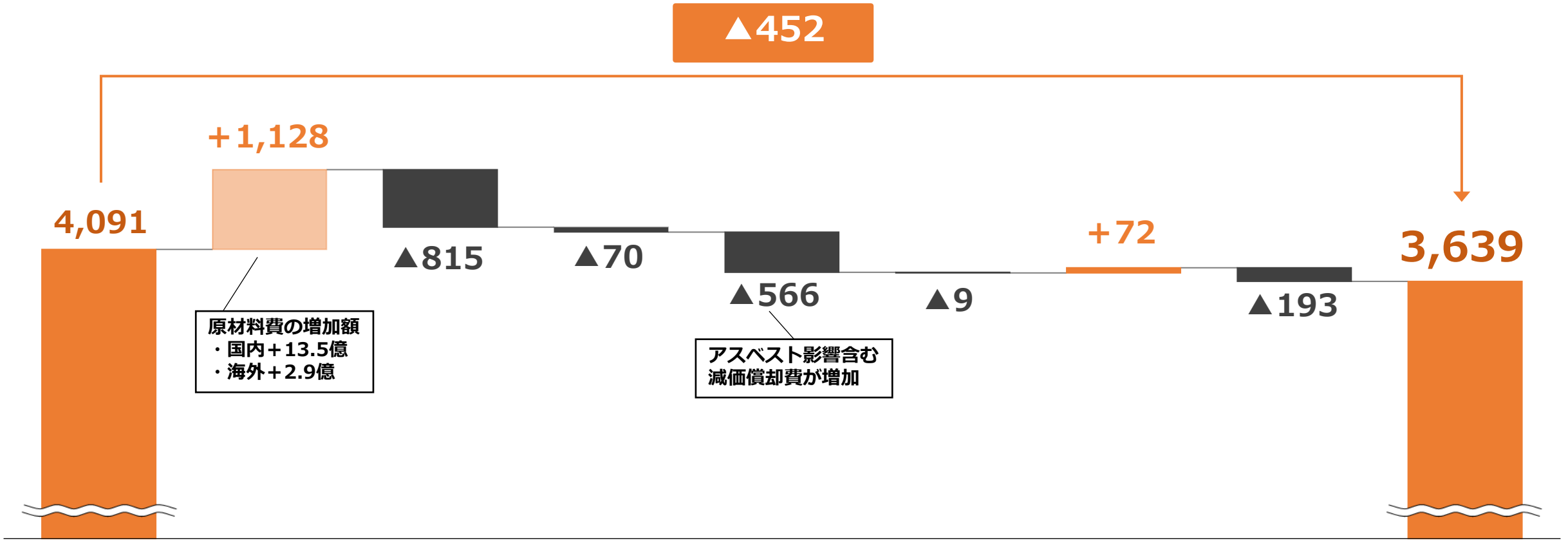
期中平均レート：2025年度中間期 146円/$、2026年度中間期 160円/$

Copyright © 2026 Riken Vitamin Co., Ltd.

営業利益の増減要因

- **コストアップを吸収できず減益**
- **アスベスト影響による利益下押し額は2.5億円**

単位：百万円



Copyright © 2026 Riken Vitamin Co., Ltd.

2026年度　セグメント別中間期業績

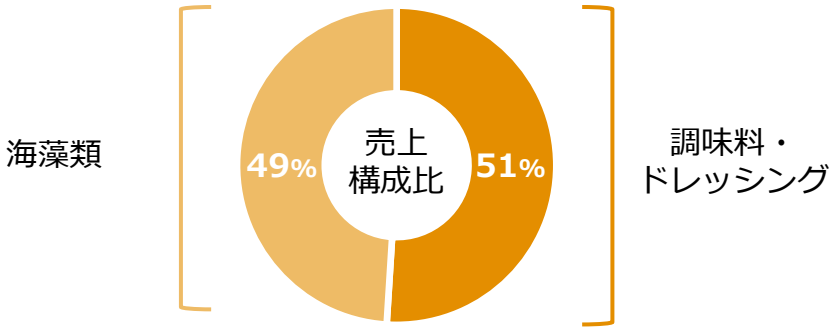
- **国内事業は増収減益**
- **海外事業は営業黒字を確保も収益性は低位**

（百万円）		2025年度 中間期	2026年度 中間期	増減額	増減率	業績予想
国内食品事業	売上高	32,785	**33,980**	+1,194	+3.6%	33,400
	営業利益	3,531	**3,217**	▲313	▲8.9%	3,220
	営業利益率	10.8%	**9.5%**	▲1.3pt		9.6%
家庭用食品	売上高	6,861	**7,035**	+174	+2.5%	6,900
業務用食品	売上高	11,454	**11,944**	+489	+4.3%	11,800
加工食品用原料等	売上高	14,469	**14,999**	+530	+3.7%	14,700
国内化成品その他事業	売上高	4,219	**4,726**	+507	+12.0%	4,400
	営業利益	471	**420**	▲50	▲10.8%	380
	営業利益率	11.2%	**8.9%**	▲2.3pt		8.6%
海外事業	売上高	11,149	**12,291**	+1,142	+10.2%	12,400
	営業利益	81	**58**	▲23	▲29.0%	0
	営業利益率	0.7%	**0.5%**	▲0.2pt		0.0%

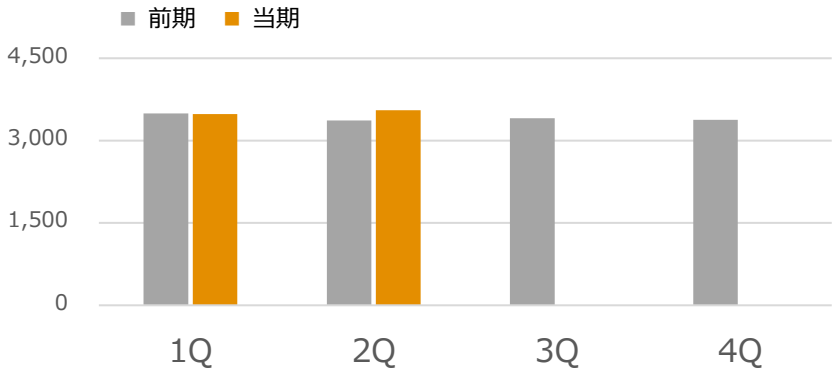
Copyright © 2026 Riken Vitamin Co., Ltd.

- **ふりかけるザクザクわかめの販売が大幅に伸長**
- **オイル入りドレッシングで販売数量が減少するも、全体では増収**

（百万円）	2025年度 中間期	2026年度 中間期
売上高	6,861	7,035↗



売上高の四半期推移



【品群別の概況】

リケンのノンオイル



金額：堅調→
数量：堅調→

全体の売上減少も、
セレクティ新商品が寄与し
前年並み

ふえるわかめちゃん



金額：堅調→
数量：堅調→

三陸産わかめの価格が安定
２Qは売り込み強化により伸長

オイル入りドレッシング



金額：減少↘
数量：減少↘

数量が伸びず苦戦

わかめスープ



金額：堅調→
数量：堅調→

堅調な売上推移

素材カだし



金額：増加↗
数量：増加↗

受注増により好調な推移

ふりかけるザクザクわかめ



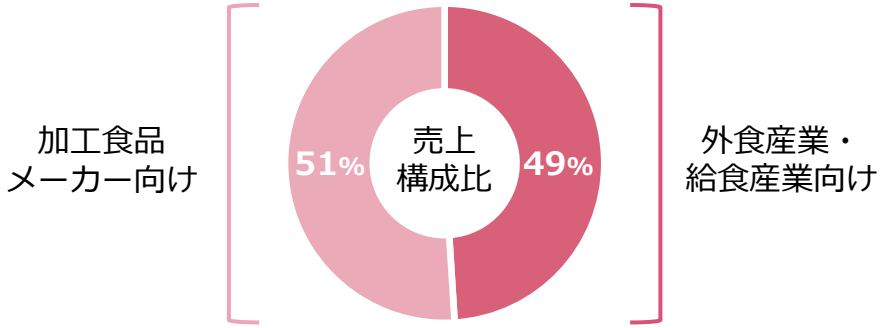
金額：大幅増↑
数量：大幅増↑

TV番組の反響が追い風
大幅に需要拡大

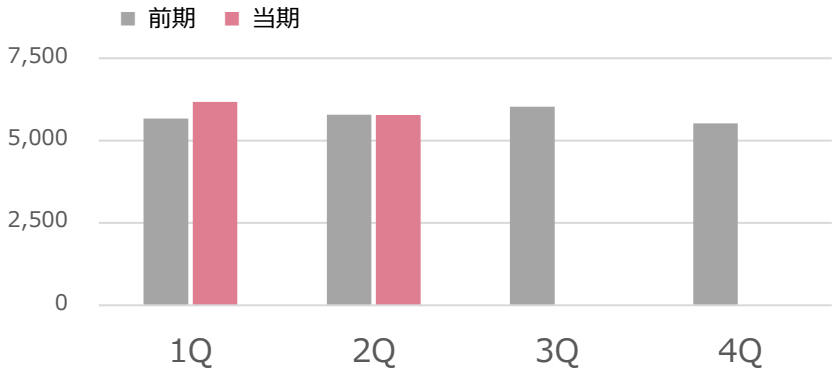
Copyright © 2026 Riken Vitamin Co., Ltd.

- **加工食品メーカー向けでは新規採用増加により販売伸長**
- **外食・給食産業向けは、新規採用や価格改定効果により好調に推移**

（百万円）	2025年度 中間期	2026年度 中間期
売上高	11,454	11,944↗



売上高の四半期推移



【取引先業界別の概況】

● **加工食品メーカー向け**
- 天候不順の影響でCVS向け商品が需要減
- スナックシーズニングで新規獲得し数量増加

● **外食産業・給食産業向け**
- まぜそばシリーズが新規採用拡大
- 冷凍海藻類が堅調
- 調味料・ドレッシングで価格改定を実施





まぜそばシリーズが業務用加工食品ヒット賞を受賞
（主催：日本食糧新聞社）

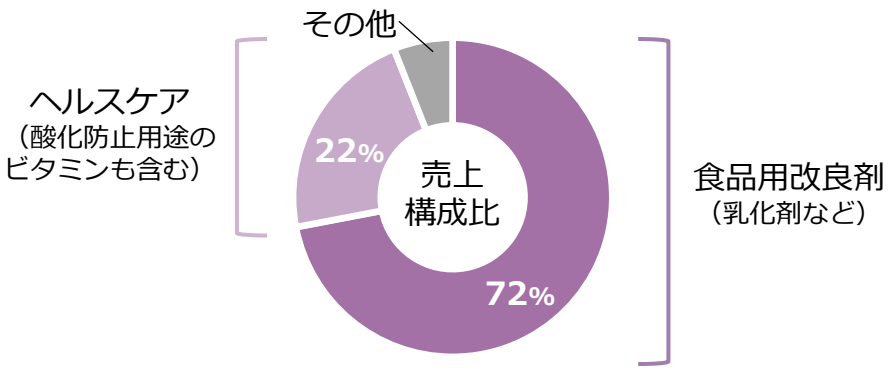
- ガツンとした満足感と味に高い評価
- 作業工程の削減、機材の洗浄負担など、現場課題の解決にも貢献



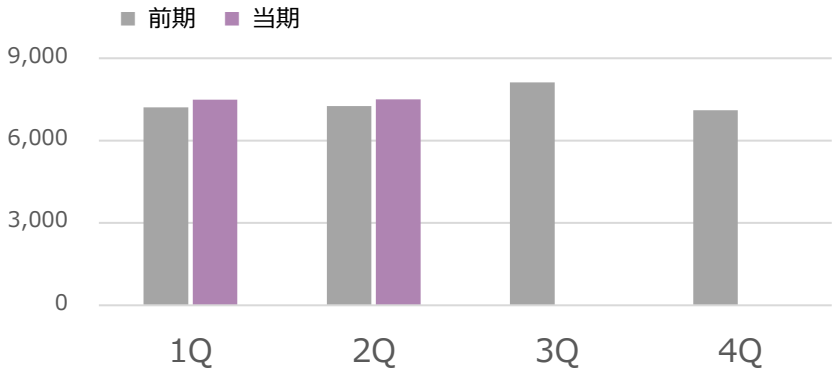
Copyright © 2026 Riken Vitamin Co., Ltd.

- **製パン業界向け改良剤が堅調に推移**
- **食品用ビタミンの販売が伸長、新規実績も寄与**

（百万円）	2025年度 中間期	2026年度 中間期
売上高	14,469	14,999↗



売上高の四半期推移



【製品群別の概況】

- **食品用改良剤**
  - 主力の製パン用は金額・数量ともに堅調
  - 豆腐業界などの和食関連が苦戦



- **ビタミン**
  - 食品用は伸長、新商品も実績化
  - 管理負担が大きい医薬用製品の終売案内開始



- **その他ヘルスケア商品**
  - クロセチンは最終商品の販売不振が影響
  - マイクロカプセルは医薬用が減少するも食品用が堅調に推移



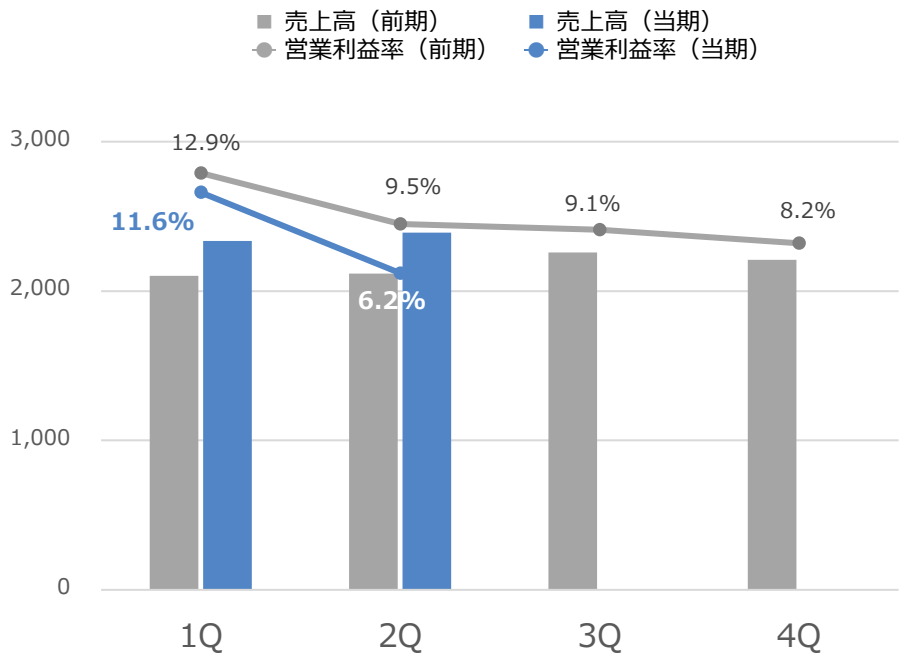
Copyright © 2026 Riken Vitamin Co., Ltd.

理研ビタミン株式会社

- **中東影響による原料価格上昇も、適切な価格改定によりカバー**
- **着実に新規採用を獲得**

（百万円）	2025年度 中間期	2026年度 中間期
売上高	4,219	4,726↗
営業利益	471	420↘

売上高・営業利益率の四半期推移



【取引先業界別の概況】

- **食品包装業界**
  - 中東影響による駆け込み需要
- **農業関連**
  - 農業用フィルムメーカーの減産の影響により販売が減少
- **自動車業界・建材業界**
  - 建材業界は中東影響の駆け込み需要から販売量が増加







プチプチ㈱と共同でリサイクル原料を使用したマスターバッチを開発

製品のリサイクル率向上に貢献

→ニュースリリース

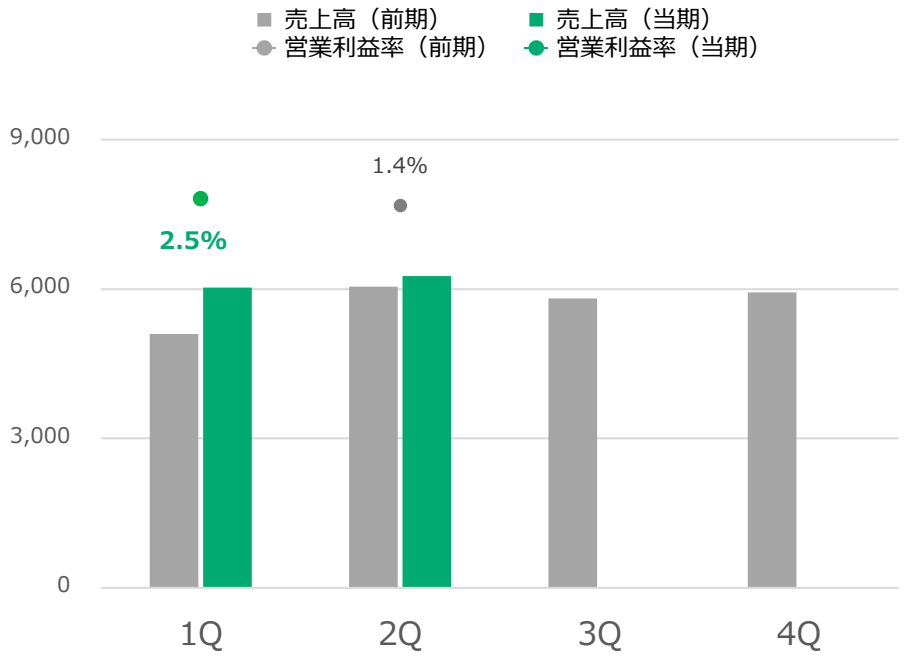


Copyright © 2026 Riken Vitamin Co., Ltd.

- **スペシャリティ品の販売伸長の一方でコモディティ品の価格競争が継続**
- **営業黒字を確保も為替・関税還付の影響を含む**

（百万円）	2025年度 中間期	2026年度 中間期
売上高	11,149	12,291↗
営業利益	81	58↘

売上高・営業利益率の四半期推移



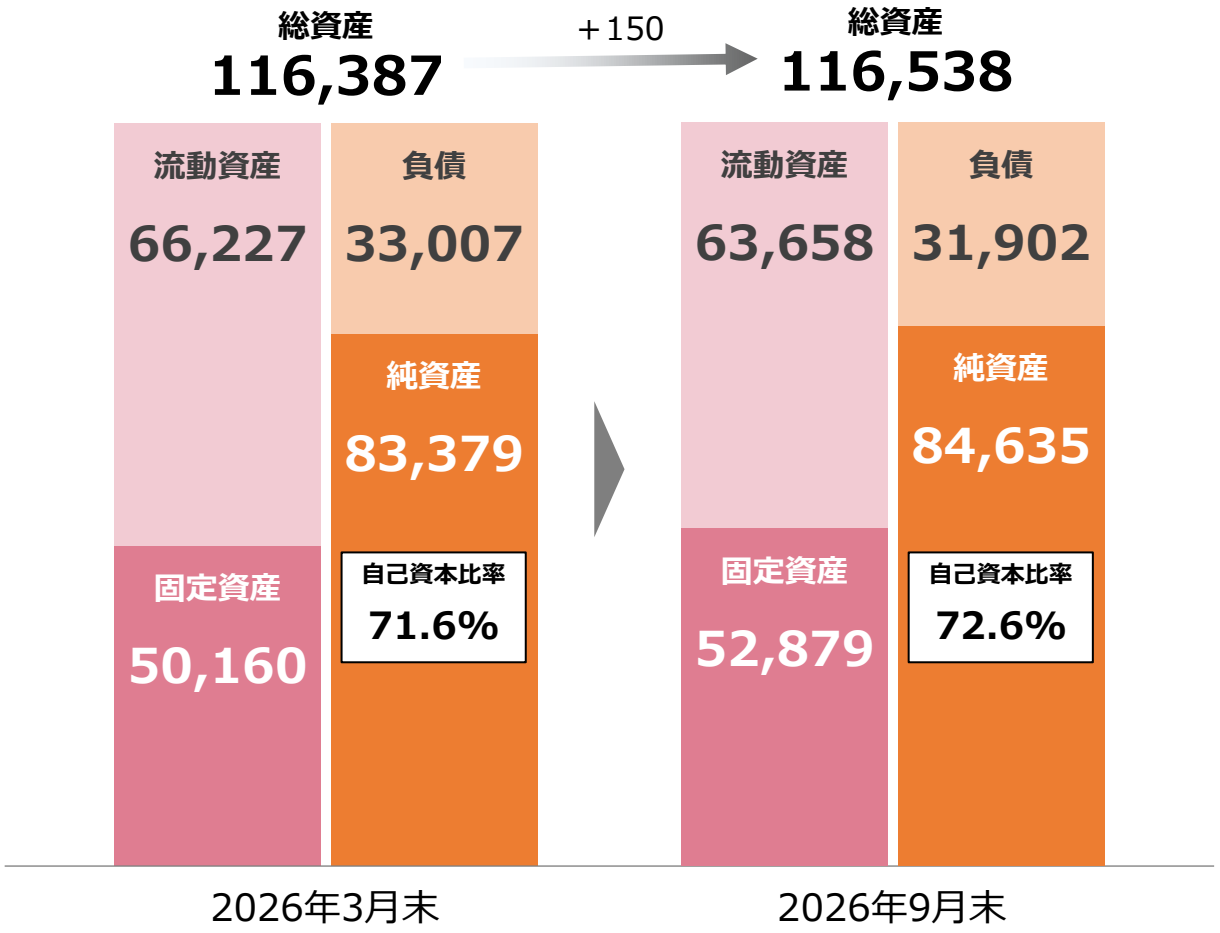
【エリア別概況】

- **中国：増収**
  - 新工場への生産移管は完了
  - 食品は堅調、化成品は品目整理の影響あり減少
- **アジア：増収**
  - コモディティ品は競争激化により減少
  - ベトナムと台湾・韓国の伸長が寄与
- **北米：増収**
  - 大手ベーカリー向けで在庫調整のため数量減少も、ポークエキスの販売は堅調に推移
  - 米国関税還付が営業利益に大きく影響
- **欧州：減収**
  - コモディティ品の苦戦が継続

Copyright © 2026 Riken Vitamin Co., Ltd.

- **投資有価証券の評価額の増加により固定資産が増加**
- **純資産の増加により自己資本比率は上昇**

単位：百万円



	増減額	備考
資産合計	+150	
流動資産	▲2,568	
現金及び預金	▲4,369	
棚卸資産	+1,295	製品の作りだめや調達が影響
固定資産	+2,718	
投資有価証券	+2,075	株価上昇に伴う投資有価証券評価額の増加
負債合計	▲1,105	
短・長期借入金	▲1,270	
純資産合計	+1,256	
自己株式	▲1,975	自己株式取得

Copyright © 2026 Riken Vitamin Co., Ltd.

目次

1. はじめに

2. 2026年度 第2四半期（中間期） 業績

3. 2026年度 通期業績見通し

4. 海外事業戦略と中計2027の見直し

Copyright © 2026 Riken Vitamin Co., Ltd.

- **国内事業を中心に通期業績予想を上方修正**
- **海外事業は戦略を見直し生産体制を再構築、通期業績予想を下方修正**
- **これらを中計2027の目標、投資配分および株主還元方針に反映**

Copyright © 2026 Riken Vitamin Co., Ltd.

- **売上高と当期純利益を上方修正、営業利益予想は据え置き**
- **中東情勢の影響を主要因としたコスト上昇の影響大**

（百万円）	2026年度 期初予想	2026年度 修正予想	増減額	2025年度 実績
売上高	100,000	**101,000**	+1,000	96,300
営業利益	7,100	**7,100**	±0	6,900
営業利益率	7.1%	**7.0%**	▲0.1pt	7.2%
EBITDA（営業利益＋減価償却費）	11,089	**11,080**	▲9	11,578
親会社株主に帰属する当期純利益	7,500	**7,800**	+300	7,035
ROE	9.2%	**9.2%**	±0.0pt	8.7%

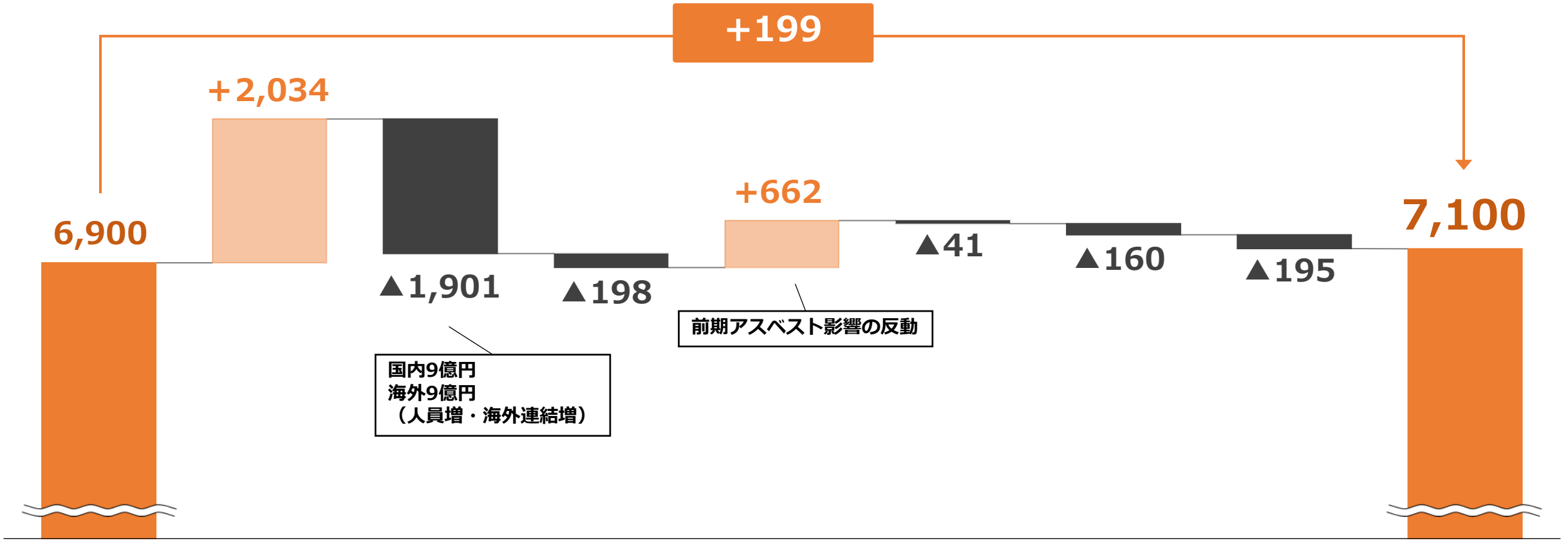
為替前提：160円/$

Copyright © 2026 Riken Vitamin Co., Ltd.

2026年度　営業利益の増減要因

- **原材料費や労務費・人件費などのコストが増加**
- **前期アスベスト影響の反動がプラス要因**

単位：百万円



Copyright © 2026 Riken Vitamin Co., Ltd.

- **国内事業を上方修正、営業利益予想71億円を維持**
- **海外事業はコモディティ品の販売縮小などを織り込み、営業損失拡大を予想**

（百万円）		2026年度 期初予想	2026年度 修正予想	増減額	2025年度 実績
国内食品事業	売上高	67,200	**68,400**	+1,200	66,360
	営業利益	6,440	**6,640**	+200	6,417
	営業利益率	9.6%	**9.7%**	+0.1pt	9.7%
家庭用食品	売上高	13,800	**13,900**	+100	13,650
業務用食品	売上高	23,400	**23,700**	+300	23,009
加工食品用原料等	売上高	30,000	**30,800**	+800	29,701
国内化成品その他事業	売上高	9,000	**9,300**	+300	8,686
	営業利益	860	**860**	±0	857
	営業利益率	9.6%	**9.2%**	▲0.4pt	9.9%
海外事業	売上高	25,800	**25,000**	▲800	22,893
	営業利益	▲200	**▲350**	▲150	▲436
	営業利益率	-	**-**	-	-

Copyright © 2026 Riken Vitamin Co., Ltd.

- **主力ブランドの強化と周辺市場への取り組み推進**
- **必要な価格改定を進め、収益力の向上を目指す**

（百万円）	2025年度	2026年度 予想
売上高	66,360	68,400↗
営業利益	6,417	6,640↗

家庭用食品







- ドレッシングは9～11月に有名マンガとのコラボキャンペーン実施
- わかめスープは45周年にあわせ、11月～12月に人気キャラクターとのコラボ企画実施
- 自社の強みが生きるPBの獲得に取り組む
- 「青じそ」1月に価格改定

業務用食品





- 冷凍海藻（わかめ・もずく）の拡大
- 成長市場である中食市場への取り組みと強化
- 消費税減税の影響を注視

加工食品用原料等





- 多様化するニーズに対応し継続して取引先への提案を強化
- 収益性向上を目的とした積極的な品目統合を推進
- ヘルスケアは開発と販売の連携を強化し、新規獲得を図る

Copyright © 2026 Riken Vitamin Co., Ltd.

トピック：岐阜県安八町に新工場用地を取得

- **京都工場の移転を前提に、2030年度の新工場稼働を目指す**
- **国内最適生産体制構築の一環として、将来の事業成長に備える**



位置関係



背景｜需要の拡大

- 京都工場は色素製造の中核
- クロセチンの需要拡大を見込む
- 米FDAがクチナシ青色素を認可

決定｜用地の取得

- 岐阜県安八町に新工場用地を取得
- 生産能力の拡充が可能

将来性｜選択肢の確保

- 京都工場移転後も十分な余地を有する
- 国内他工場も含めた再編の選択肢を確保

Copyright © 2026 Riken Vitamin Co., Ltd.

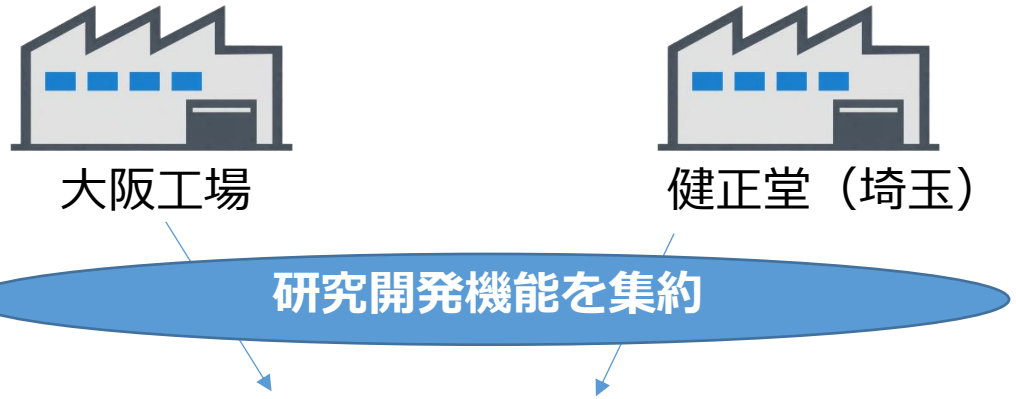
- **上期進捗は堅調、下期もコスト増に対応**
- **中長期での開発体制強化に向け、新研究開発拠点の設置を決定**

（百万円）	2025年度	2026年度 予想
売上高	8,686	9,300↗
営業利益	857	860→

業績見通しのポイント

- 上期は急激な原料高騰に対して、機動的に価格改定
- 下期は、上期駆け込み需要の反動や取引先の事業見直しなど化学業界の構造変化がリスク要因
- 必要な価格改定に加え、注力分野での新規獲得に取り組む

新研究開発拠点「Material Nexus Lab（仮）」





東京工場内に設置
2028年4月運用開始

技術者間の連携を促進し、
高機能素材や
新たな製品価値創出を目指す

Copyright © 2026 Riken Vitamin Co., Ltd.

目次

1. はじめに

2. 2026年度 第2四半期（中間期） 業績

3. 2026年度 通期業績見通し

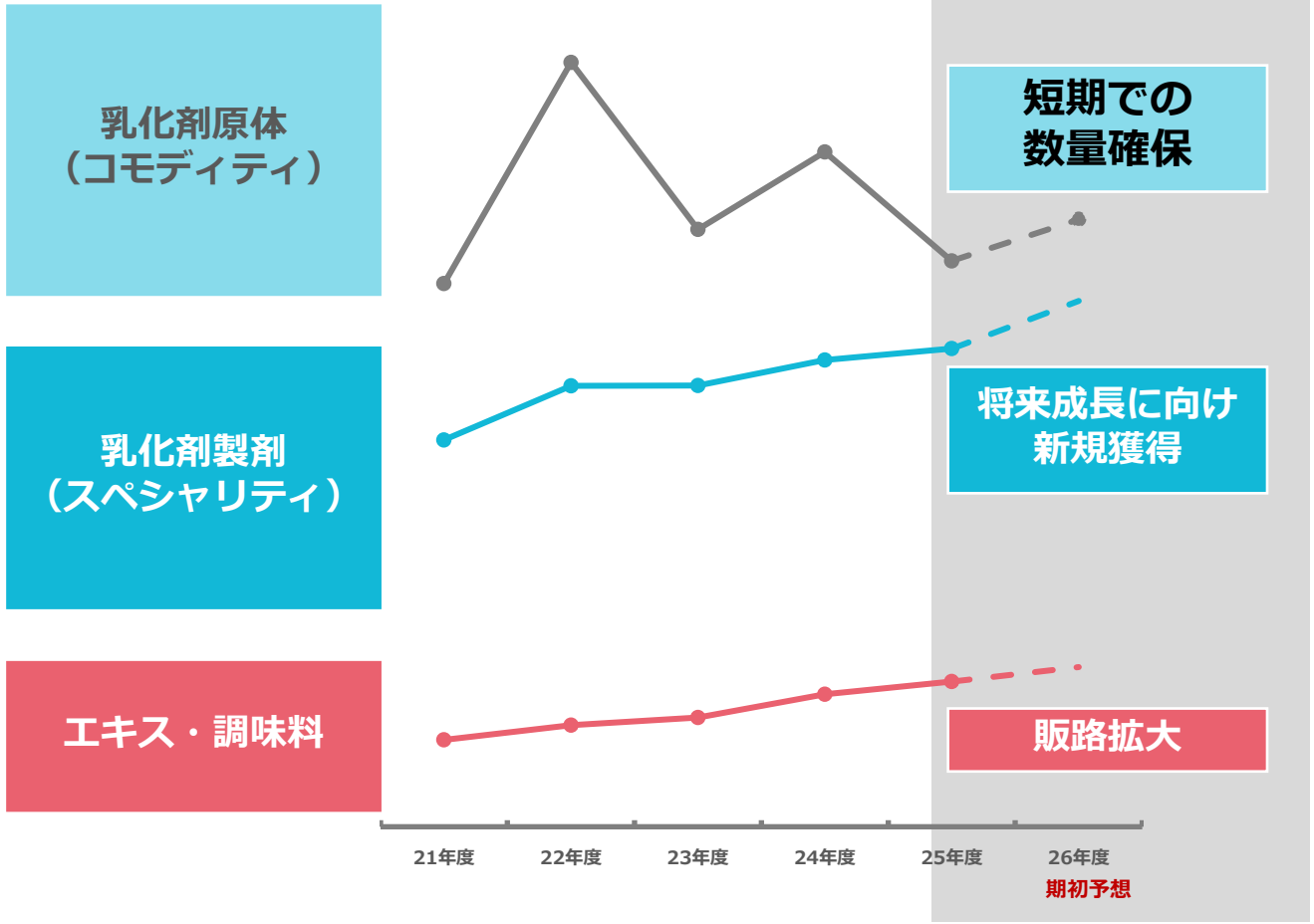
4. 海外事業戦略と中計2027の見直し

Copyright © 2026 Riken Vitamin Co., Ltd.

理研ビタミン株式会社

- **数量拡大を前提とした収益改善から、収益性を軸とする事業へ**

海外事業の製品群別売上高推移



期初方針

短期での
数量確保

将来成長に向け
新規獲得

販路拡大

現在の認識

- コモディティ品の
  供給過剰と価格競争が継続
- 数量回復だけでは収益改善が
  不十分

今回の判断

**スペシャリティ品を
事業の主軸に据え
転換を早める**

Copyright © 2026 Riken Vitamin Co., Ltd.

- **コモディティ品の役割を見極め、事業を最適化**

コモディティ品は選択的に継続	規模を適正化	スペシャリティ品への転換を加速
• 採算性のある品目 • スペシャリティ品の供給上必要なルート • スペシャリティ品の原料	需要と販売構成に合わせた設備と人員体制の構築により、固定費と維持コストを削減	• 世界での加工食品の潜在力はまだまだ大きい • 注力するエリアを選定し、得意な分野で深掘り • 価値提案に向けた生産、開発、営業体制を強化

Copyright © 2026 Riken Vitamin Co., Ltd.

海外事業体制再構築のロードマップ

理研ビタミン株式会社

- **事業規模に合わせて体制を再構築し、スペシャリティ品中心の事業へ転換**

2025年度～ 2026年度上期	2026年度 下期	2027年度	2028年度以降
これまでの 取り組み	**構造改革**	**海外事業黒字化**	**収益構造を確立**
• 中国新工場竣工、 化成品一部ライン停止 • 東南アジア 2拠点新設 • ベトナムで 現地生産開始 • 北米拠点移転、 APC拡大 • 北米エキス工場増設	• マレーシアでの コモディティ品 生産縮小 ✓ 一部設備の稼働停止、減損 ✓ 人員整理 • 既存設備を活用し スペシャリティ品の 生産を拡大	• 選定したエリアでの深掘り • 消費地に近い 生産の拡大 • 現地ニーズ探索と、的確な課題解決提案を強化	• 製剤需要の拡大に応じ生産能力増強を検討 • 海外で売上と利益を稼ぐ会社へ

Copyright © 2026 Riken Vitamin Co., Ltd.

理研ビタミン株式会社

- **APCを活用し、地域別戦略によりスペシャリティ品を拡大**

中国：重点市場

- 従来からスペシャリティ品の比率が高いエリア
- 営業体制を見直し、顧客ニーズの収集を強化
- 足元の景気は厳しいが市場の潜在力は大きく、新規顧客の開拓で成長を狙う

東南アジア：重点市場

- 重点国（ベトナム・タイ・マレーシア・インドネシア）を深掘り
- ケーキ、冷食分野の売上拡大
- 現地スタッフを増員し、きめ細かいニーズを収集
- ベトナムに続き、別の国でも現地生産を拡大検討
- リケビタ・マレーシアはコモディティ品の縮小にあわせてスペシャリティ品の生産能力を拡大

北米：重点市場

- 改良剤：エキスがほぼ半々のエリア
- 改良剤はAPCを活用し、ベーカリー分野に注力
- エキスは東海岸エリアなど手薄だったエリアを開拓
- 中長期の拡大を見据え、クチナシ青色素の市場攻略を推進

ヨーロッパ：顧客基盤の維持

- コモディティ品の比率が高いエリア
- 中東を担当しており、情勢不安の影響を受ける
- 当社への信頼度が高い顧客の維持

東アジア：選択展開

- 最も化成品用改良剤の比率が高いエリア
- 台湾の強化に注力

【海外APCを活用した成長モデル】



Copyright © 2026 Riken Vitamin Co., Ltd.

- **2027年度は構造改革により営業黒字化を目指すが、当初計画から下振れ**
- **コモディティ品の縮小を織り込み、2027年度は当初計画比で営業利益▲15億円**

海外事業

2026年度予想

（百万円）	期初予想	修正予想	増減
売上高	25,800	**25,000**	▲800
営業利益	▲200	**▲350**	▲150

2027年度 中期経営計画

（百万円）	当初計画	修正計画	増減
売上高	30,000	**25,700**	▲4,300
営業利益	1,600	**50**	▲1,550
営業利益率	5.3%	**0.2%**	▲5.1pt

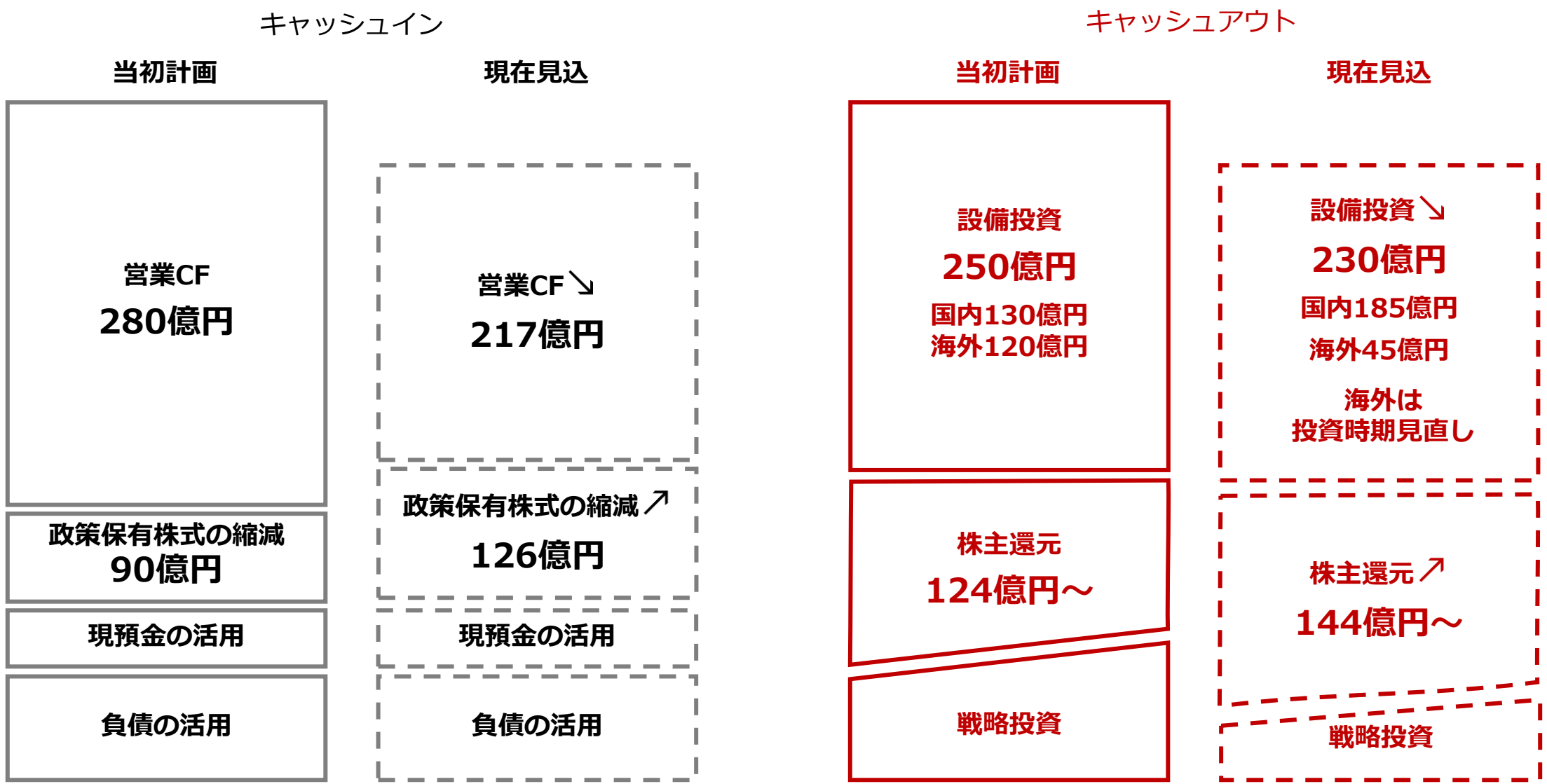
Copyright © 2026 Riken Vitamin Co., Ltd.

- **海外事業戦略の修正を反映し、中計2027の数値目標を見直し**
- **一方でROE10%水準を維持するとともに、DOE4%を下限とする累進配当を導入**

（億円・%）	2027年度 当初計画	2027年度 修正計画	増減額
売上高	1,100	**1,050**	▲50
営業利益	100	**80**	▲20
営業利益率	9.1%	**7.6%**	▲1.5pt
EBITDA（営業利益＋減価償却費）	142	**122**	▲20
ROE	10%以上	**10%**	
配当方針	配当性向 40%以上	**DOE4%下限 累進配当**	
自己資本比率	60～65%	**70%程度**	
政策保有株式純資産比率	10%未満	**変更なし**	

Copyright © 2026 Riken Vitamin Co., Ltd.

- **収益性と資本効率を重視し、今中計は国内生産基盤への投資を優先**



Copyright © 2026 Riken Vitamin Co., Ltd.

- **安定的・継続的な株主還元に向け配当方針を変更、年間配当は118円を予定**
- **自己株式の取得方針はこれまで通り**

新配当方針

DOE４%を下限とする累進配当

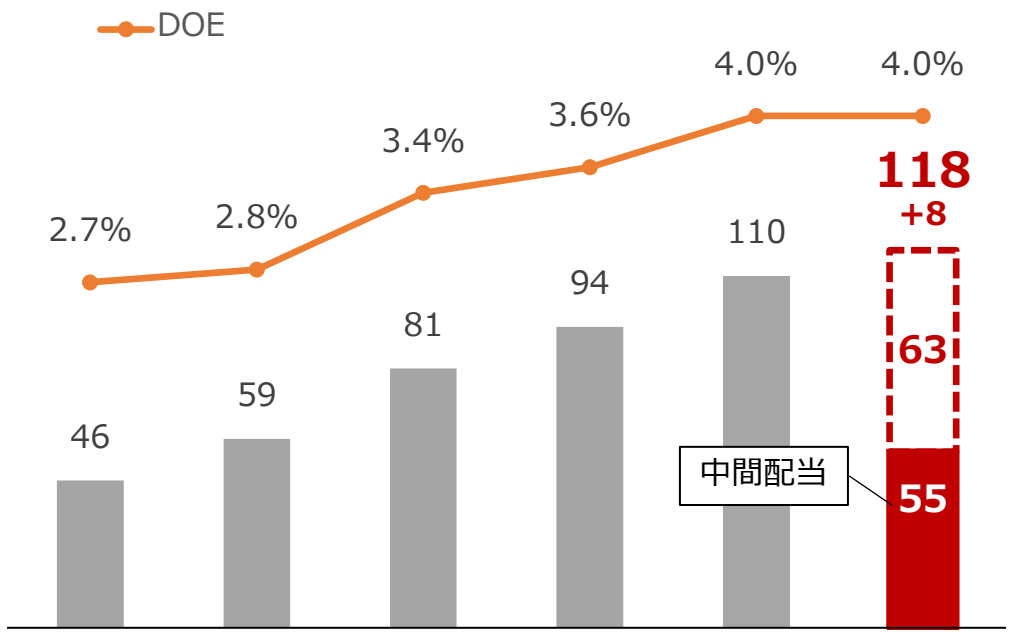
DOE（自己資本配当率）：
年間配当総額÷期首期末平均自己資本

累進配当：
1株当たり配当金を維持または増配すること

自己株式の取得方針

株主還元の拡充および資本効率の向上に向け、機動的に実施

1株当たり年間配当金推移（円）



自己株式取得額（億円）			63	11	20	20

Copyright © 2026 Riken Vitamin Co., Ltd.

理研ビタミン株式会社

- **時価総額1,000億円超・PBR1倍超の定着を通過点とし、さらなる企業価値向上を目指す**
- **より中長期的な視点が必要なステージであると認識、各戦略を一体的に推進する**

事業戦略

財務戦略

非財務戦略

IR

EPS成長
- 中長期で稼ぐ力の向上
- 機動的な自己株式取得

PER向上
- 開示・対話の充実
- ガバナンスの高度化

ROE維持
- 収益性の向上
- BSマネジメント

配当
- DOE4%・累進配当

目指す企業価値の目安

時価総額
1,000億円
足元で超過

PBR
安定的に1倍超

さらなる企業価値向上を目指す

Copyright © 2026 Riken Vitamin Co., Ltd.

持続可能な社会を
スペシャリティな製品とサービスで支え、
成長する会社になる

理研ビタミン株式会社

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その実現を当社として約束する趣旨のものではありません。
実際の業績等は今後さまざまな要因により、大きく異なる結果となる可能性があります。

お問い合わせ先：広報ＩＲ部　pr_ir@rikenvitamin.jp

Copyright © 2026 Riken Vitamin Co., Ltd.

補足資料

Copyright © 2026 Riken Vitamin Co., Ltd.

アスベスト除去費用に関する経緯と、利益影響額

理研ビタミン株式会社

- **2025年度、国内で保有する全建物について再調査**
- **調査結果をもとに資産除去債務を15億円追加計上**

（2026年5月　決算説明会資料の再掲）

PL影響額　15億円 ※主に原価に影響



背景：中計2027の設備投資として国内設備の老朽化更新を進める中、過去の見積りを上回るアスベスト除去金額を確認

2025年度

国内すべての建物のアスベスト除去費用について再調査を開始

調査結果に基づくアスベスト除去費用の精緻な見積りを入手
当該見積りをもとに資産除去債務の見積りを変更
この変更により2025年度の営業利益が872百万円減少

2026年度以降

耐用年数未経過の建物について残りの耐用年数にわたって減価償却費が増加
耐用年数経過済みの建物については25年3Q時点の在庫を売り切るまで影響
営業利益への影響額は2026年度3～4億円、2027年度約1億円の見込

Copyright © 2026 Riken Vitamin Co., Ltd.

アスベスト影響を除く営業利益比較

理研ビタミン株式会社

（百万円）		2025年度 中間期	2026年度 中間期 （調整後*）	2025年度 通期 （調整後*）	2026年度 通期予想 （調整後*）
国内食品事業	営業利益	3,531	**3,463**	7,258	**7,000**
	営業利益率	10.8%	**10.2%**	10.9%	**10.2%**
国内化成品その他事業	営業利益	471	**431**	879	**875**
	営業利益率	11.2%	**9.1%**	10.1%	**9.4%**
海外事業	営業利益	81	**60**	▲426	**▲350**
	営業利益率	0.7%	0.5%	-	-
連結合計	営業利益	4,091	**3,898**	7,773	**7,450**
	営業利益率	8.7%	**7.8%**	8.1%	**7.4%**

*アスベスト影響を除外した参考値

Copyright © 2026 Riken Vitamin Co., Ltd.

営業外収支、特別損益等の増減

- **営業外収益の増加および為替差損が減少**
- **海外事業の戦略変更により特別損失が発生**

（百万円）	2025年度 中間期	2026年度 中間期	増減額	主な増減要因（前期比）
営業利益	4,091	**3,639**	▲452	
営業外収益	497	**672**	174	受取配当金（172）
営業外費用	220	**102**	▲117	為替差損（▲133）
経常利益	4,368	**4,209**	▲159	
特別利益	400	**400**	0	固定資産売却益（115）
特別損失	240	**299**	58	事業再編関連損失（161）
税引前利益	4,528	**4,311**	▲217	
法人税等	1,164	**1,115**	▲49	
非支配株主に帰属する中間純利益	2	**3**	0	
親会社株主に帰属する中間純利益	3,361	**3,192**	▲169	

Copyright © 2026 Riken Vitamin Co., Ltd.

理研ビタミン株式会社

- **棚卸資産の増加幅縮小などにより営業CFは前年同期から改善**
- **自己株式の取得などにより財務CFの支出が増加**

（百万円）	2025年度 中間期	2026年度 中間期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	713	**2,742**	+2,029
減価償却費	1,680	1,913	+232
棚卸資産の増減額	▲2,666	▲1,295	+1,370
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,092	**▲2,432**	▲3,524
定期預金の払戻による収入	3,279	786	▲2,493
投資有価証券の売却による収入	995	314	▲681
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲3,739	**▲4,888**	▲1,149
配当金の支払額	▲1,607	▲1,612	▲5
自己株式の取得による支出	▲863	▲1,999	▲1,136
現金及び現金同等物の期末残高	16,840	**14,592**	▲2,248

フリー・キャッシュ・フロー

2025年度 中間期 **1,805**

▲1,495

2026年度 中間期 **310**

Copyright © 2026 Riken Vitamin Co., Ltd.

連結業績推移

（百万円）	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度 予想
売上高	87,181	89,515	89,024	82,974	77,722	79,231	88,750	91,484	95,582	96,300	101,000
前期比増減率	▲ 1.0%	2.7%	▲ 0.5%	▲ 6.8%	▲ 6.3%	1.9%	12.0%	3.1%	4.5%	0.8%	4.9%
営業利益	6,820	5,424	4,580	5,307	1,367	5,840	7,158	9,371	8,724	6,900	7,100
前期比増減率	13.5%	▲ 20.5%	▲ 15.6%	15.9%	▲ 74.2%	327.2%	22.6%	30.9%	▲ 6.9%	▲ 20.9%	2.9%
売上高営業利益率	7.8%	6.1%	5.1%	6.4%	1.8%	7.4%	8.1%	10.2%	9.1%	7.2%	7.0%
経常利益	6,248	4,587	4,388	5,045	1,652	6,182	7,723	10,296	9,417	7,704	7,600
売上高経常利益率	7.2%	5.1%	4.9%	6.1%	2.1%	7.8%	8.7%	11.3%	9.9%	8.0%	7.5%
親会社株主に帰属する当期純利益	4,089	4,800	2,623	▲8,933	▲1,618	21,582	6,414	8,755	9,388	7,035	7,800
売上高当期純利益率	4.7%	5.4%	2.9%	―	―	27.2%	7.2%	9.6%	9.8%	7.3%	7.7%
総資産額	109,342	110,994	109,706	101,853	106,535	102,660	105,223	118,776	112,999	116,387	
純資産額	53,611	58,919	59,229	46,789	46,674	66,539	71,371	76,643	79,200	83,379	
自己資本比率	48.5%	52.7%	53.5%	45.5%	43.3%	64.8%	67.8%	64.5%	70.1%	71.6%	
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,126	5,753	6,689	5,850	7,660	6,823	7,835	10,451	7,892	5,963	
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲3,080	▲1,617	▲3,388	▲4,282	▲2,322	▲3,661	▲2,034	▲554	353	1,747	
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲1,881	▲5,869	▲2,490	▲3,051	▲180	▲7,565	▲4,578	▲7,084	▲9,965	▲8,040	
ROE	6.4%	8.6%	4.5%	▲ 17.0%	▲ 3.5%	38.3%	9.3%	11.8%	12.1%	8.7%	9.2%

Copyright © 2026 Riken Vitamin Co., Ltd.

セグメント別四半期累計業績推移

（百万円）		2025年度 1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	2026年度 1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	2026年度 通期予想
売上高	国内食品事業	16,373	32,785	50,352	66,360	17,144	33,980			68,400
	家庭用食品	3,495	6,861	10,272	13,650	3,482	7,035			13,900
	業務用食品	5,670	11,454	17,487	23,009	6,170	11,944			23,700
	加工食品用原料等	7,207	14,469	22,592	29,701	7,491	14,999			30,800
	国内化成品その他事業	2,102	4,219	6,477	8,686	2,335	4,726			9,300
	海外事業	5,098	11,149	16,961	22,893	6,029	12,291			25,000
	調整額（セグメント間消去）	▲ 316	▲ 889	▲ 1,287	▲ 1,640	▲ 376	▲ 809			▲ 1,700
	連結合計	23,257	47,265	72,503	96,300	25,133	50,189			101,000
営業利益	国内食品事業	2,040	3,531	5,082	6,417	1,926	3,217			6,640
	国内化成品その他事業	270	471	675	857	271	420			860
	海外事業	▲ 0	81	▲ 97	▲ 436	151	58			▲ 350
	調整額（セグメント間消去）	55	6	55	62	▲ 101	▲ 56			▲ 50
	連結合計	2,365	4,091	5,716	6,900	2,248	3,639			7,100
経常利益		2,531	4,368	6,403	7,704	2,547	4,209			7,600
親会社株主に帰属する四半期/当期純利益		1,825	3,361	5,949	7,035	1,869	3,192			7,800

*2025年度より、従来報告セグメントごとに配分していなかった全社費用の一部を主に海外事業に配分しています。

Copyright © 2026 Riken Vitamin Co., Ltd.

セグメント別四半期業績推移

（百万円）		2025年度 1Q	2Q	3Q	4Q	2026年度 1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	国内食品事業	16,373	16,412	17,566	16,008	17,144	16,835		
	家庭用食品	3,495	3,366	3,410	3,377	3,482	3,553		
	業務用食品	5,670	5,784	6,032	5,521	6,170	5,774		
	加工食品用原料等	7,207	7,261	8,123	7,109	7,491	7,507		
	国内化成品その他事業	2,102	2,116	2,258	2,209	2,335	2,391		
	海外事業	5,098	6,050	5,811	5,932	6,029	6,261		
	調整額（セグメント間消去）	▲ 316	▲ 572	▲ 398	▲ 352	▲ 376	▲ 432		
	連結合計	23,257	24,007	25,238	23,796	25,133	25,056		
営業利益	国内食品事業	2,040	1,491	1,550	1,335	1,926	1,291		
	国内化成品その他事業	270	200	204	181	271	148		
	海外事業	▲ 0	82	▲ 179	▲ 338	151	▲ 93		
	調整額（セグメント間消去）	55	▲ 48	48	6	▲ 101	44		
	連結合計	2,365	1,726	1,624	1,184	2,248	1,391		
経常利益		2,531	1,837	2,034	1,301	2,547	1,662		
親会社株主に帰属する四半期純利益		1,825	1,536	2,587	1,086	1,869	1,322		

*2025年度より、従来報告セグメントごとに配分していなかった全社費用の一部を主に海外事業に配分しています。

Copyright © 2026 Riken Vitamin Co., Ltd.